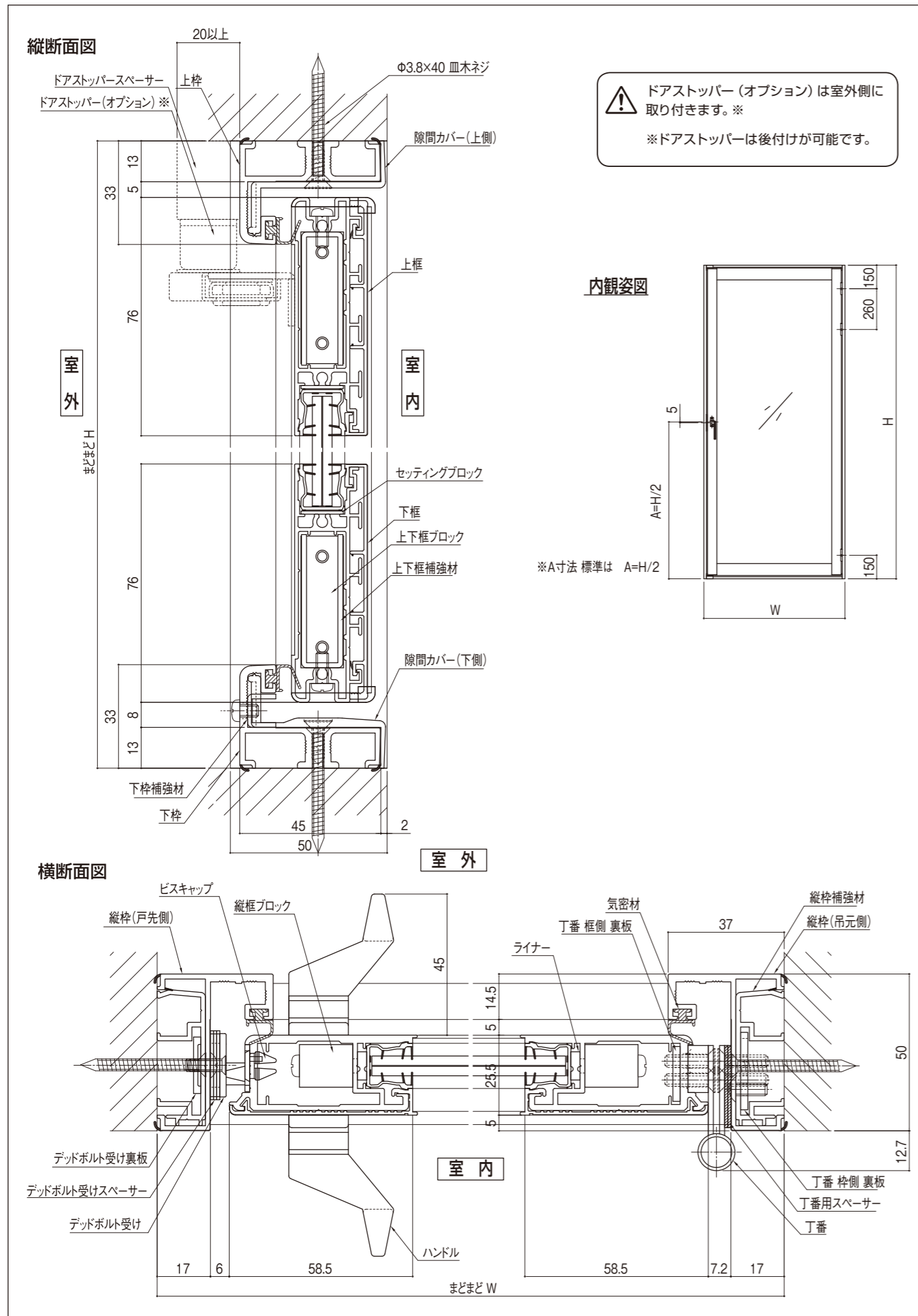


基本図



⚠ ドアストッパー (オプション) は室外側に  
取り付けます。※  
※ドアストッパーは後付けが可能です。

まどまど® std テラスドア 組立・施工・調整要領書

組立・施工の前に

この度は、まどまど®stdをご採用いただきましてありがとうございます。  
この商品を正しく安全に組立・施工していただくため、この要領書をよくお読みの上、正しく作業を行ってください。

安全にお使いいただくために

この組立・施工要領書に示した注意事項は安全に関する重要な内容です。人身事故  
や財産の損害を未然に防止するため、次のような絵表示をしています。  
内容をよく理解して本文をお読みください。



この表示を無視して、誤った取扱いをすると、人が傷を負う可  
能性が想定される内容および物的損害のみの発生が想定さ  
れる内容を示しています。



この記号は行為を強制したり指示する内容を告げるものです。  
「必ず行っていただく事」を示しています。



この記号は作業上、施工上の勘所を示しています。



●商品の組立・施工については必ず本説明書に  
従ってください。



●組立時、樹脂部材はアルミに比べて破損しや  
すい為、ハンマーで直接叩くと割れる恐れがあ  
ります。必ず、当て木を当ててください。  
●木額縁へ枠を取り付ける際、ねじの締めすぎに  
注意してください。

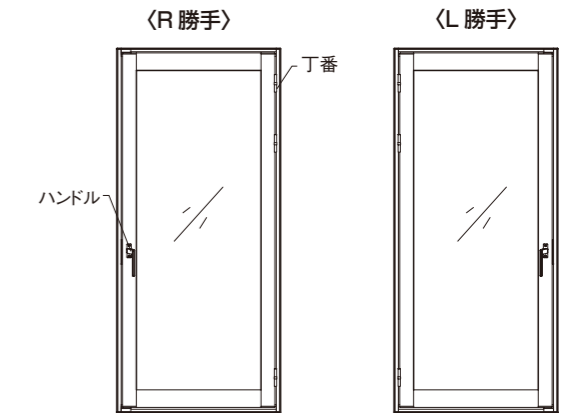
記載仕様について

■本説明書では、R 勝手の場合 内観から・吊元 (丁番側) 右を <R 勝手>  
を示します。(L 勝手は R 勝  
手の逆勝手となります。)

■ガラス仕様は「合わせガラス」  
を主としてとして記載してい  
ますが、ペアガラスも随時記  
載していますのでご注意ください。

開き勝手について

内観から・吊元 (丁番側) 左を <L 勝手>  
として示します。



同梱部材・部品一覧表 ●下表を参照の上・部材の有無を確認してください。

■枠部材 ※枠部材の裏面には取付方向に関する表示ラベルが貼ってあります。ご確認ください。 例：上枠 ↓ 室内側

名称	上枠	下枠	たて枠 (戸先)	たて枠 (吊元)
姿図				
入数	1 本	1 本	1 本	1 本

■框部材 ※ 各框にはお使いいただくガラスの専用先付グレチェーンがセットされています。

■部品パック

名称	上枠	下枠	たて枠 (戸先)	たて枠 (吊元)	名称	ネジパック	部品パック
姿図						ネジパック	部品パック ビスキャップ×8ヶ 補助ライナー×2ヶ ハンドル RL各1
入数	1 本	1 本	1 本	1 本	入数	1 set	1 set

# 障子の組立 (合わせガラスの場合)

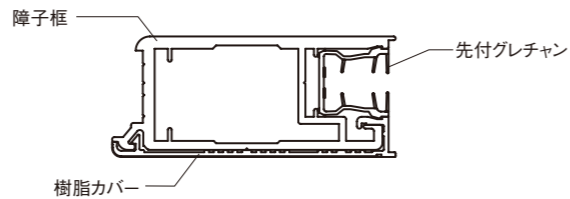
## 組立の前に

- 梱包箱から部材を取り出し、組上がり状態に並べ、組み合わせ部材の有無を確認してください。
  - 部材は室内側、室外側の区別があります。樹脂カバー側が室内側になります。
  - 框部材の上下にご注意ください。上框には商品表示ラベルが貼ってあります。
  - 枠部材の上下・左右にご注意ください。枠部材裏面に表示ラベルが貼ってあります。
- ガラス寸法は右表の寸法になっています。
- 先付グレチャンは障子框に嵌め込んであります。
- ペアガラス周辺に二次シールが付着している場合は、カッターナイフ等で表面と側面を平らにしてから框の組立を行ってください。

■ガラス寸法  
(合わせガラス・ペアガラス共通)

	算出式
ガラス W	W - 138
ガラス H	H - 165

単位: mm



## 組立手順

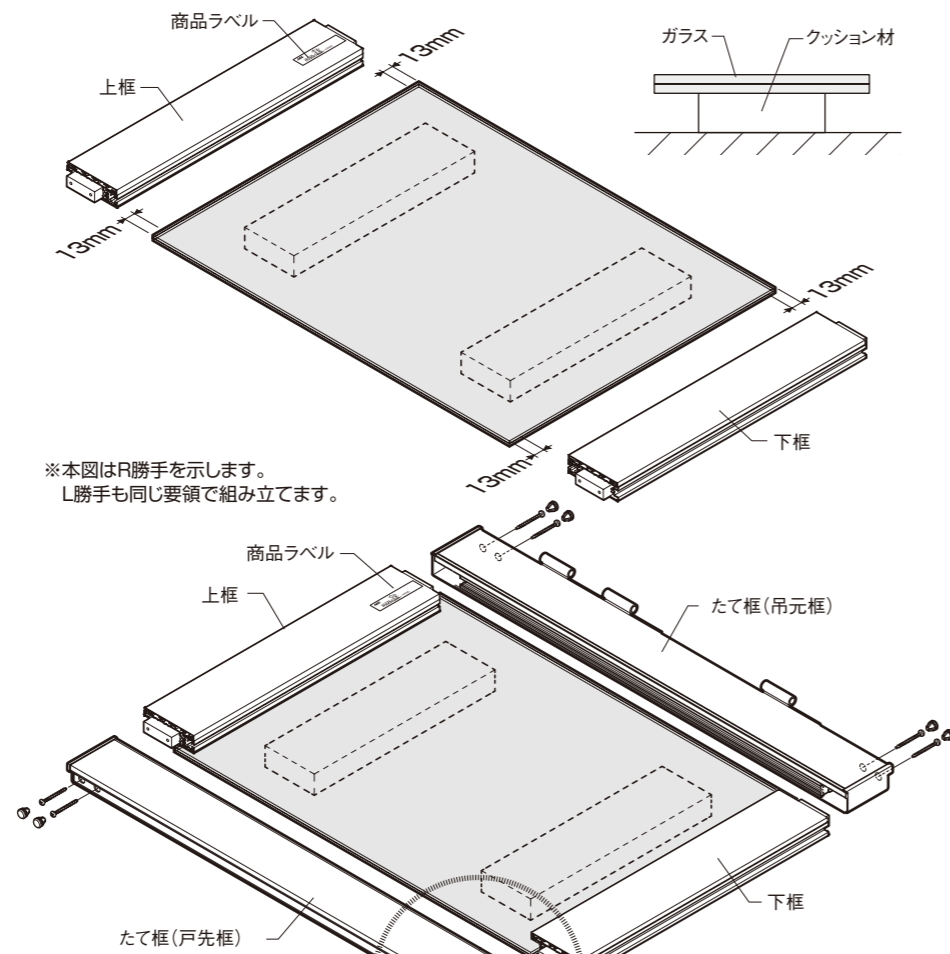
### 1. 上・下框のセット

- 予めクッション材を準備し、ガラスをクッション材の上に水平に置きます。
- 上・下框を先にガラスにセットします。
- 上・下框をセットする位置はガラスの両端から約13mmです。定規などを使用してできるだけ正確に嵌め込んでください。

**ポイント**

- ガラスは端部から、框を少し斜めにして嵌め込みます。
- 嵌め込みがきつい場合は木片等で軽くたたいてセットします。

※本図はR勝手を示します。L勝手も同じ要領で組み立てます。



### 2. たて框のセット

- たて框(ハンドル側框・たて框(吊元框))をセットして、組立ねじで組立ます。仮組をしながら、対角を確認してください。
- 最後に、ビスキャップを取り付けます。

**ポイント**

- 上框と各たて框がずれているときは、木片等で軽くたたいて位置合わせをしてください。

● アルミブロックのタップ穴にねじ止めて組立ます。

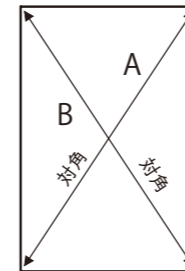
### 3. 対角の調整

**お願い** 対角は障子のダレ防止のため必ず確認してください。

- 組立は、対角を確認しながら行ってください。
- 木片等で軽くたたきながら、対角を調整し、組立ます。

■ 対角は、ダレ防止のため、丁番吊元下部からの対角(B)をやや大きく取ります。

※対角B寸法はA寸法と同じか、もしくは2mm程大きい。



### 補助ライナーについて

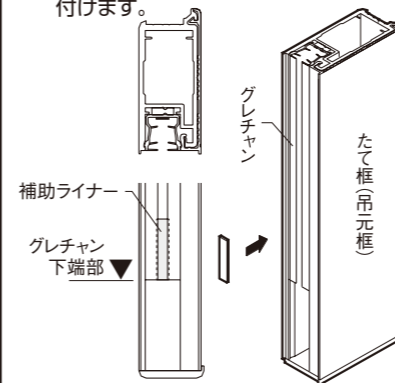
- 既存窓木額縁は、水平・垂直にして枠を取り付けることを基本としますが、対角が出ていない場合の調整や、万が一障子がダレそうな場合、ガラス補助ライナーを取り付けてください。

#### ■補助ライナーの取付

- 補助ライナーは障子の組立前に取り付けます。取り付け位置は、たて框(吊元框)の下部です。

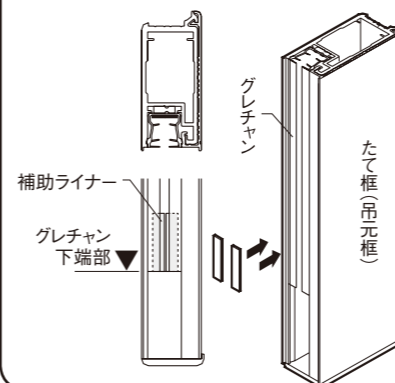
#### 〈合わせガラスの場合〉

- ガラス補助ライナーを1枚、縦長に貼り付けます。



#### 〈ペアガラスの場合〉

- 補助ライナーを2枚並べて縦長に貼り付けます。



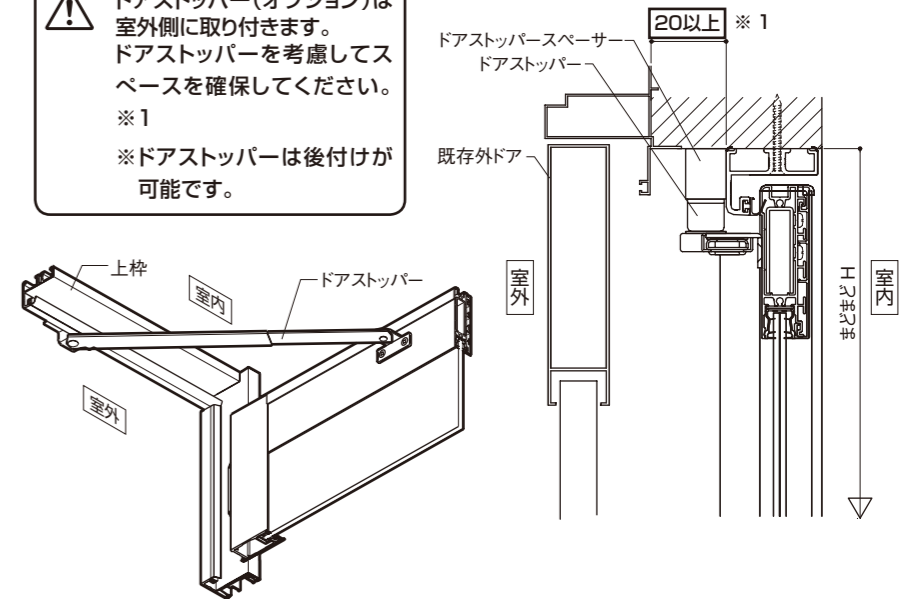
# 施工前の注意

施工の前に以下を考慮して施工を行ってください。

## ドアストッパー (オプション) を取付ける場合

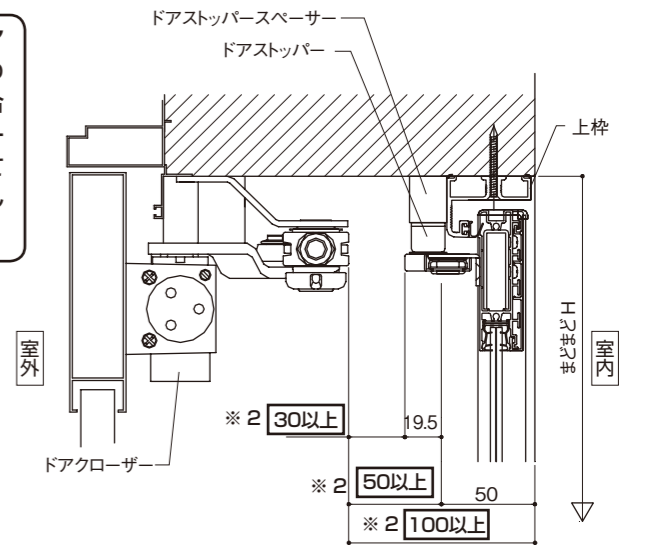
- テラスドアはオプションで下図のようなドアストッパーのご用意があります。※ドアストッパーの取り付けは別途ドアストッパー施工要領書をご覧ください

**!** ドアストッパー(オプション)は室外側に取付けます。ドアストッパーを考慮してスペースを確保してください。※1 ※ドアストッパーは後付けが可能です。



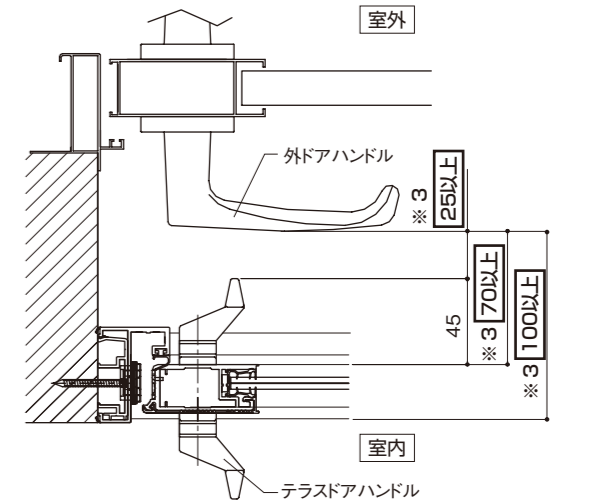
## 既存 外ドア ドアクローザーが干渉する場合

**!** 既存外ドアにドアクローザーが取り付けられている場合は、ドアクローザーの軌跡も考慮してスペースを確保してください。※2



## 既存 外ドア ハンドルが干渉する場合

**!** ハンドル位置をずらした発注をしても外ハンドルと干渉する場合は、図のようにハンドルが当たらない位置を確保してください。※3



# 施工要領

## 1. たて枠の取付

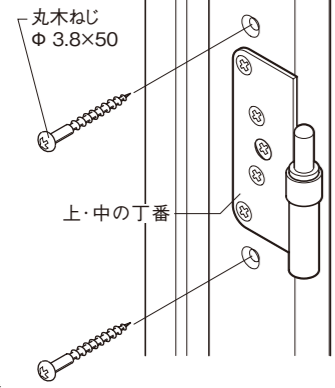
●たて枠は、窓木額縁のたて額縁と平行にしてセットします。

※まどまど®stdのたて枠は、アルミ補強材が入ってますので内側斜めからの取り付けはできませんのでご注意ください。

●皿木ねじφ3.8×40で固定します。

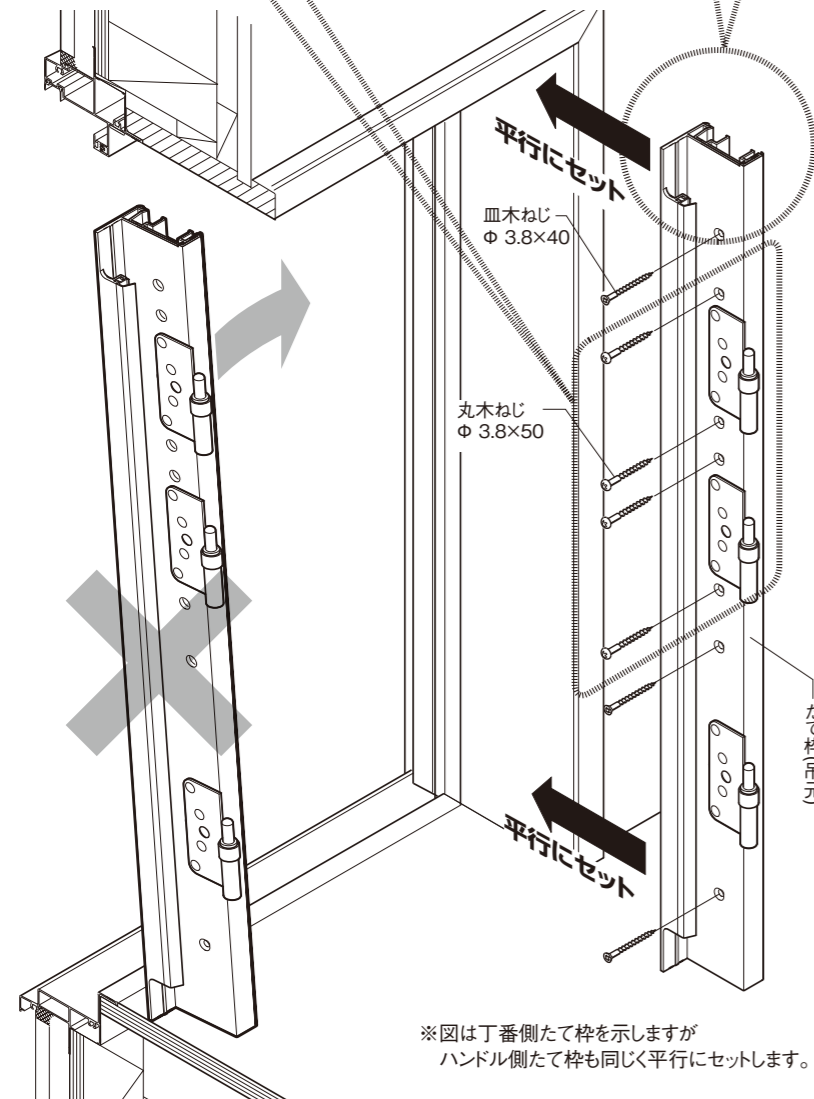
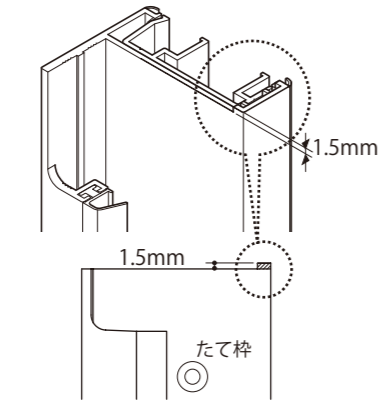
●上・中の丁番の両端は、丸木ねじφ3.8×50で固定してください。

### ■上・中丁番の両端の固定



### ■窓木額縁の高さ寸法誤差等でたて枠が入らない場合

・窓木額縁の高さ寸法とたて枠寸法の差を測り、その差寸法をカットします。  
・差寸法が1.5mm以内であれば、たて枠上部の1.5mm段差部をヤスリ等で削り、隙間のないように取り付けてください。



※図は丁番側たて枠を示しますが、ハンドル側たて枠も同じく平行にセットします。

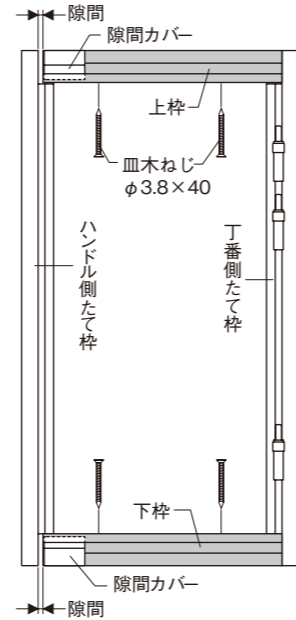
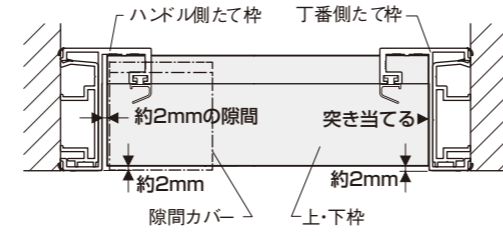
## 2. 上・下枠の取付

■上・下枠は出荷時に切断寸法が約2mm短くなっています。

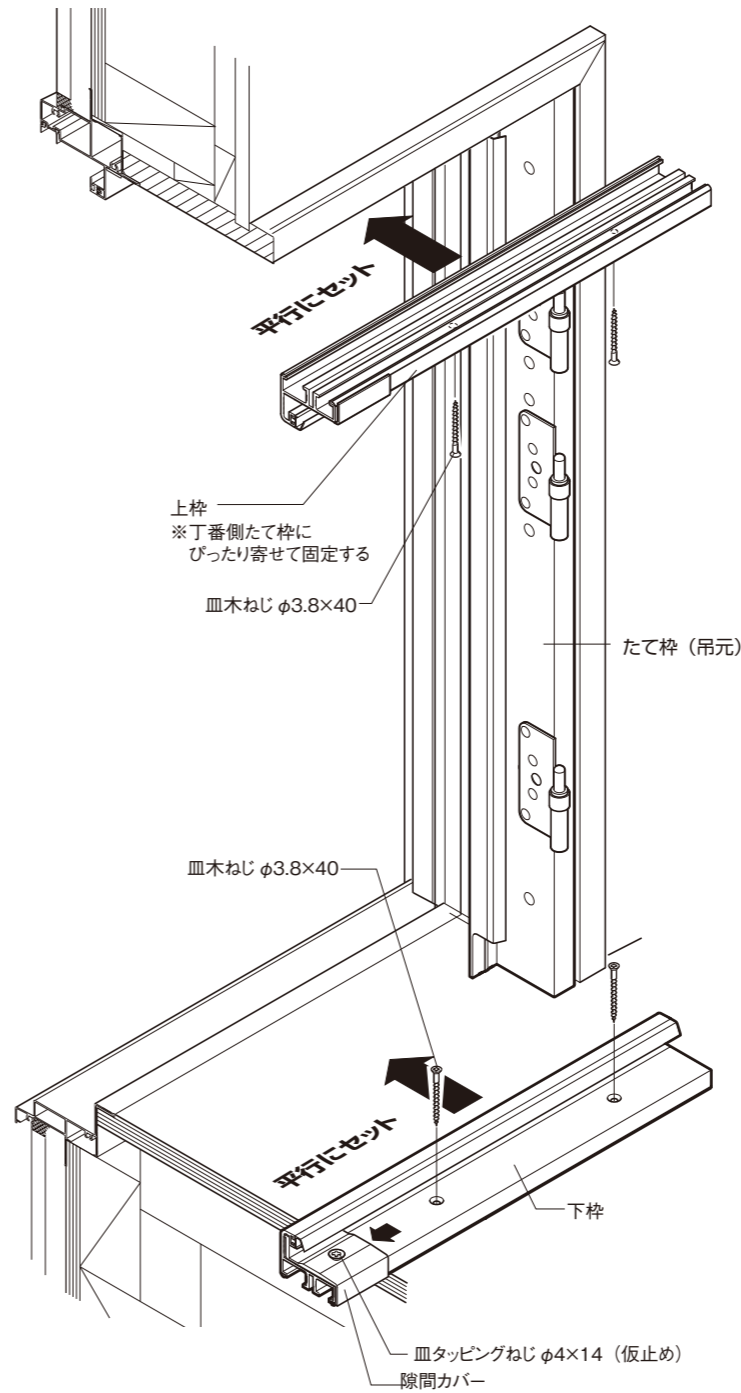
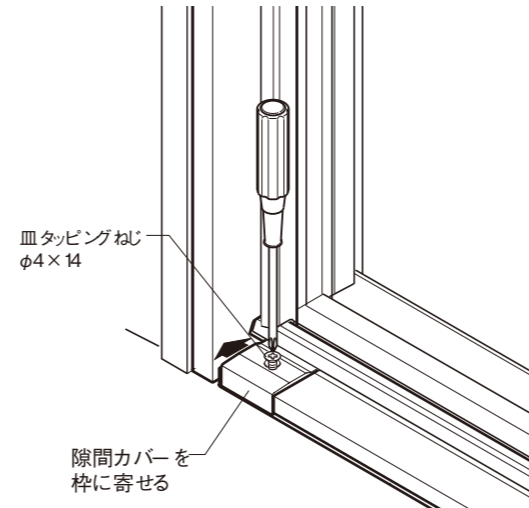
①上・下枠は取付位置に平行に挿入し、丁番側たて枠にぴったり寄せてセットします。この時、上・下枠はハンドル側たて枠との間に約2mmの隙間が、たて枠室内側面より約2mmずれた位置にセットされます。

皿木ねじφ3.8×40で両端を先に止めてから中央を止めていきます。

### ●上下枠の取付位置

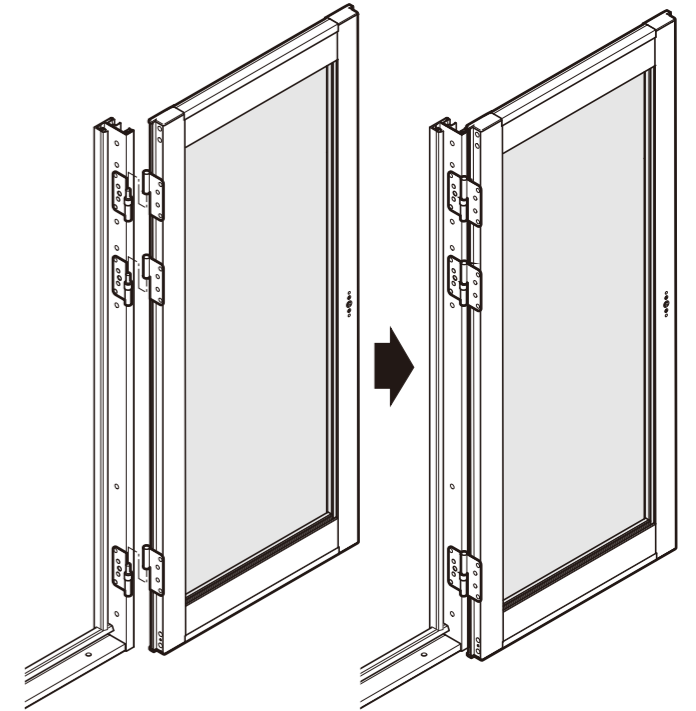


②次に、上・下の隙間カバーの仮止めねじを緩めて、ハンドル側たて枠にぴったり寄せ、隙間を隠してねじ止めます。



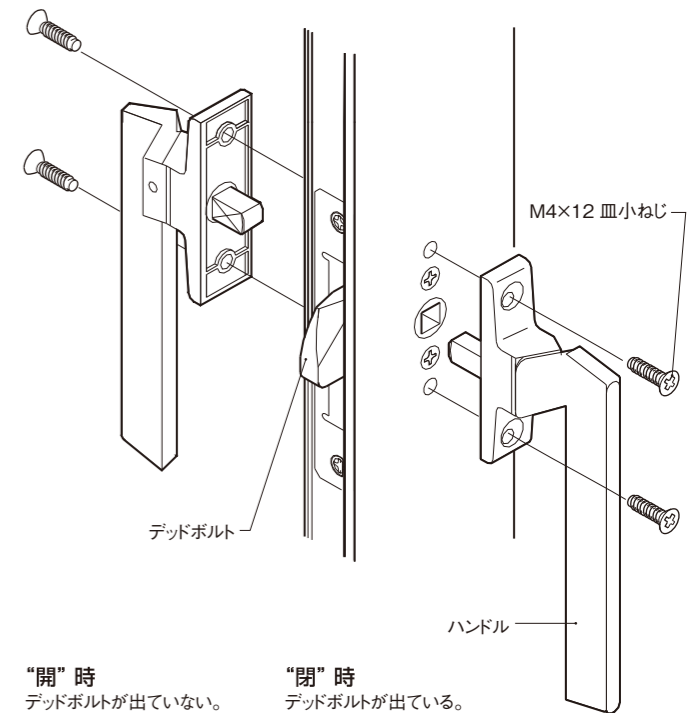
## 3. 障子の吊込み

●障子をまっすぐに立てて、上・下の丁番の位置に合わせ、軸芯棒にセットします。



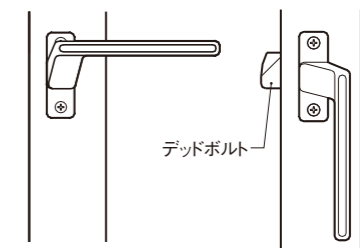
## 4. ハンドルの取付

●ハンドルの左右勝手と方向に注意して、下図のようにハンドル角軸を戸先縦框の角穴に入れ、M4×12 皿小ねじで取付けてください。



“開”時  
デッドボルトが出ていない。

“閉”時  
デッドボルトが出ている。



# 建付調整

## 障子の傾き調整

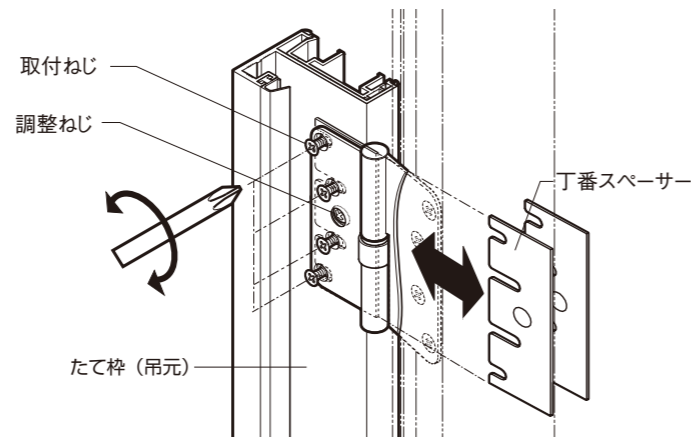
●障子の傾きは丁番スペーサー抜き差しで調整します。

### 【丁番スペーサーの取外し方法】

※丁番スペーサーの取外しは障子を吊り込んだ状態で可能です。

- ①丁番取付ねじを緩め、丁番スペーサーを取り外します。  
※丁番の中心にある調整ねじ（トラス頭）は外さないでください。  
※丁番スペーサーは丁番1か所に付き、2枚挟まっています。
- ②スペーサーの抜き差しで調整後、再度丁番取付ねじを締めこんでください。

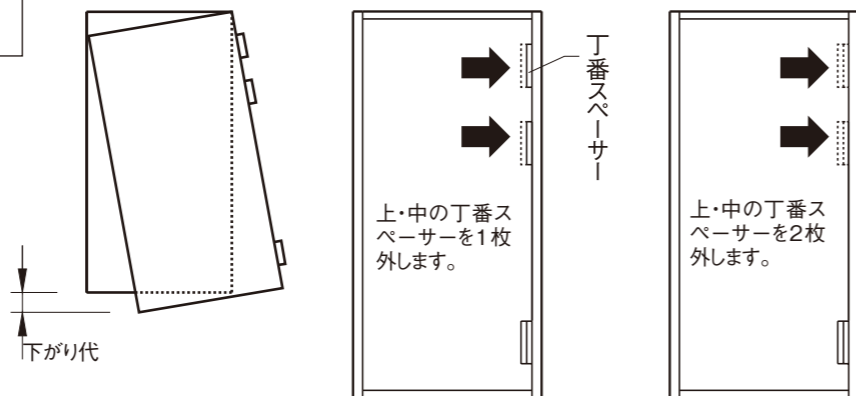
※丁番スペーサーを2枚外しても障子の傾きが直らない場合は、外した丁番スペーサーを調整が必要な丁番に3枚重ねて傾きを調整してください。



### ■障子が下がる場合

### ●下がり代が小さい場合

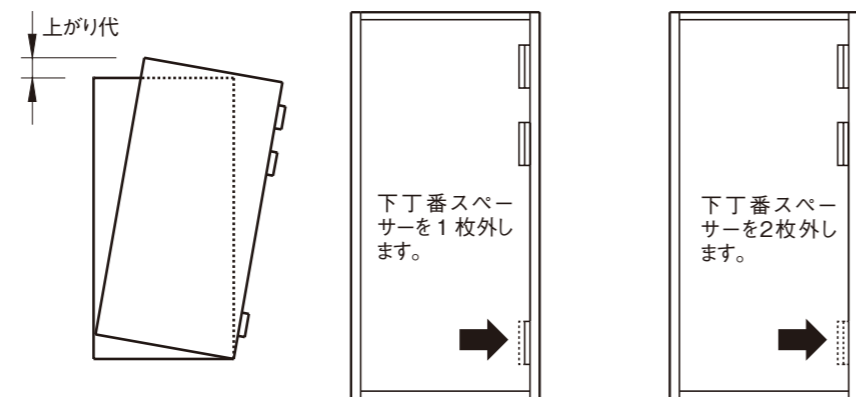
### ●下がり代が大きい場合



### ■障子が上がる場合

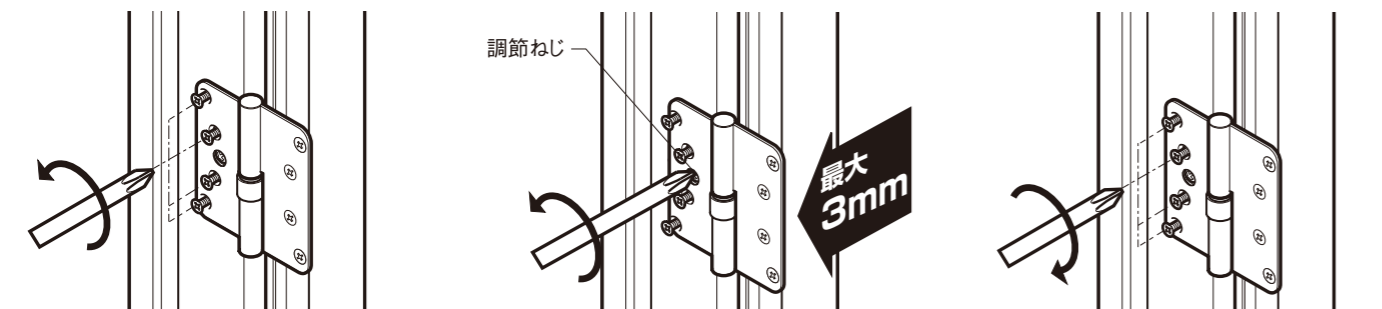
### ●上がり代が小さい場合

### ●上がり代が大きい場合



## 調整ねじによる障子の傾き調整

※細かい障子の傾きを調整したい場合に調整ねじで調整してください。



①上丁番の内側4ヶ所の取付ねじを緩めておきます。

②中央の調節ねじを左に回して障子をハンドル側に移動します。

③位置が決まったら緩めた取付ねじを締めます。

## 障子の建付調整

### 障子の上下の隙間調整

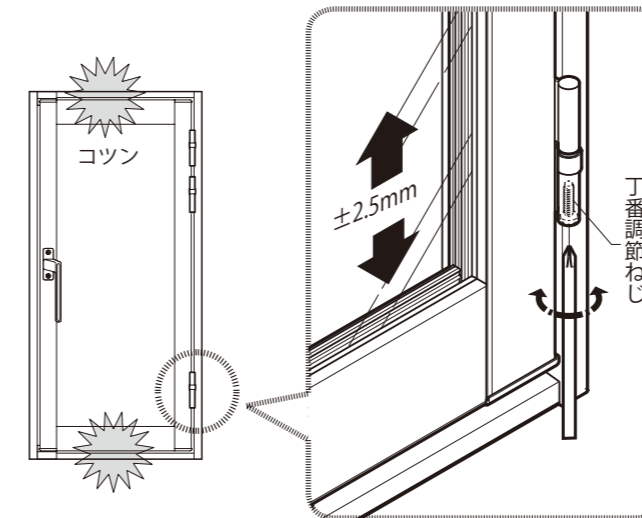
#### ■障子の下部が下枠に当たる

●下丁番の上下調節ねじを右に回すと最大 2.5mm 障子が上がります。

#### ■障子の上部が上枠に当たる

●上・下丁番両方の上下調節ねじを左に回すと最大 2.5mm 障子が下がります。

※フロア面が近すぎて下丁番で調整できない場合は上丁番でも同様に調整することができます。



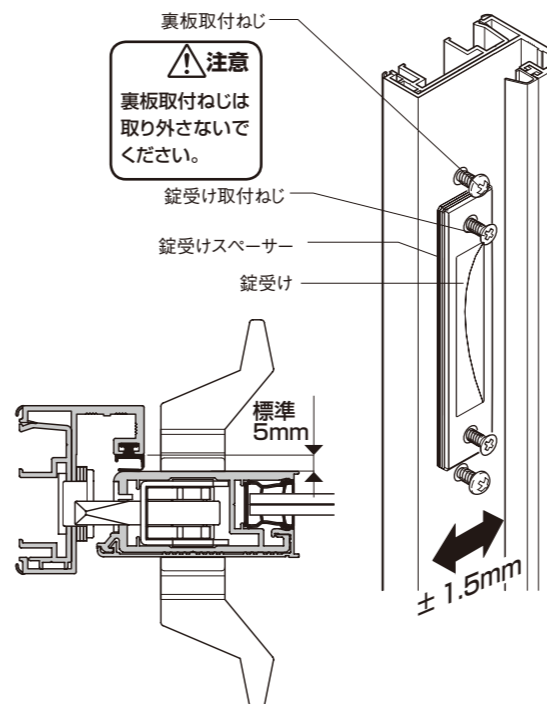
## 錠受けの調整

### 錠受けの出入りの調整

■戸先側の気密材のタッチが緩い場合やきつい場合に調整します。

●枠と障子の出入り方向の隙間は5mmが標準です。

●裏板取付ねじ及び錠受け取付ねじを緩めると錠受けを内外±1.5mm 移動できます。



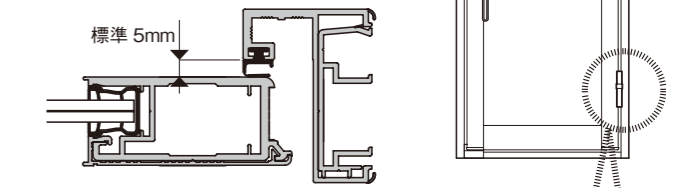
**注意**  
裏板取付ねじは取り外さないでください。

### 障子の出入りの隙間調整

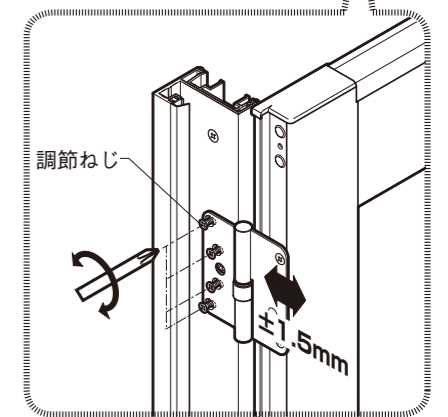
■気密材のタッチが緩い場合や、きつい場合に調整します

●枠と障子の出入り方向の隙間は5mmが標準です。

●取付ねじ4ヶを緩めて内外±1.5mm 移動できます。



**注意:** 中央のねじは左右調節ねじですので触れないでください。



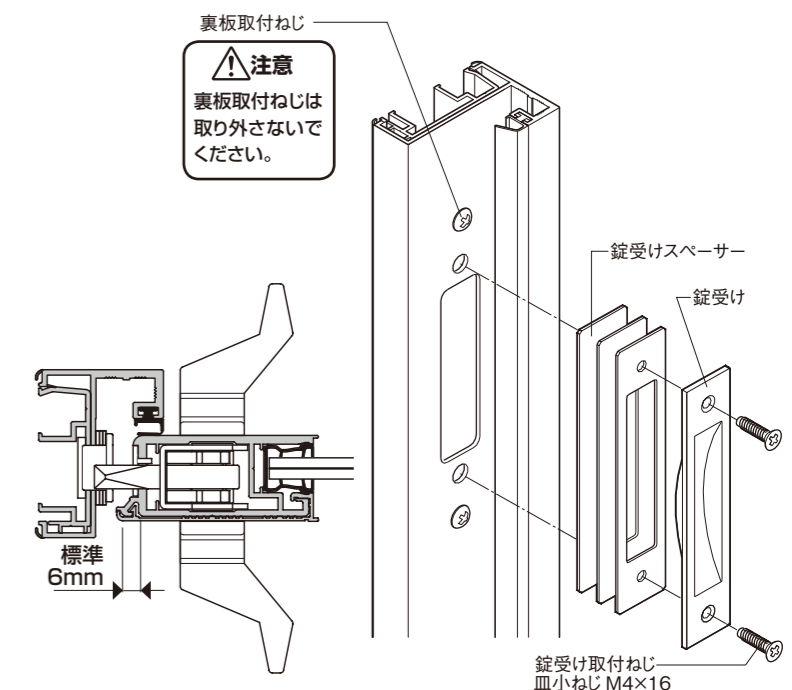
### 錠受けの隙間の調整

■戸先側の錠受けと枠が当たる場合に調整します。

●枠と障子の隙間は6mmが標準です。

●皿小ねじM4×16を外して、錠受けを取り、錠受けと縦枠の間の錠受けスペーサーを外して調整してください。

※錠受けスペーサーは3枚が標準、1枚の厚みは1.0mmです。



**注意**  
裏板取付ねじは取り外さないでください。

標準 6mm